

介護職員等処遇改善加算における職場環境等要件への取組について

令和8年4月1日

社会福祉法人 俱知安福社会

	職場環境等要件	当法人の取り組み
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	資格、職歴、国籍等に関わらず、多様性に富んだ人材を確保する方針を採用している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	地域住民に施設行事やボランティアに参加してもらうことで、介護の魅力ややりがいについてPRしている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	職員に対して各種研修の受講を推奨し、勤務シフトの調整の実施や施設による受講料等の負担をしている。
	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入	主として新人職員が業務や人間関係に対して抱く不安を解消するため定期的にエルダーによる面談を実施している。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	ライフステージに応じて、仕事とプライベートを両立できるように勤務形態について配慮している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	定期的な声かけを通じて有給休暇を取得しやすいよう促している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	外部からの講師による実技を中心とした研修によって職員の負担軽減に努めている。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	週20時間未満の職員に対しても毎年健康診断を受診させている。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	タブレット端末によるデータ入力や介護ソフトの利用により記録業務の負担軽減を図っている。
	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	高齢者のスタッフにベッドメイキングや清掃業務などの間接業務を担ってもらい、主として入所者の直接処遇を行う介護職員との役割分担を図っている。
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	安全衛生委員会等を通じて、定期的な不用品の廃棄や記録物の整理を行うことで清潔な職場環境を心がけ、職員の働きやすさを確保している。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	lineワークスやオンラインカレンダー等のITツールを使い、効率的な情報共有に努めている。
	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築を行っている。 現場の課題の見える化を実施している。	生産性向上委員会を定期的に開催し、課題の見える化や業務改善活動に取り組んでいる。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎朝ミーティングを行い、注意事項の共有や質疑応答など職員とのコミュニケーションを図っている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	施設職員による町内会行事への参加、地域住民の施設防災訓練への参加を呼び掛けているなど交流機会を確保している。